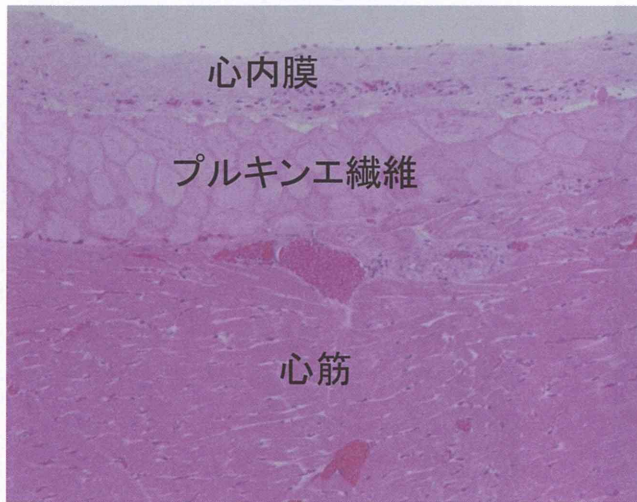
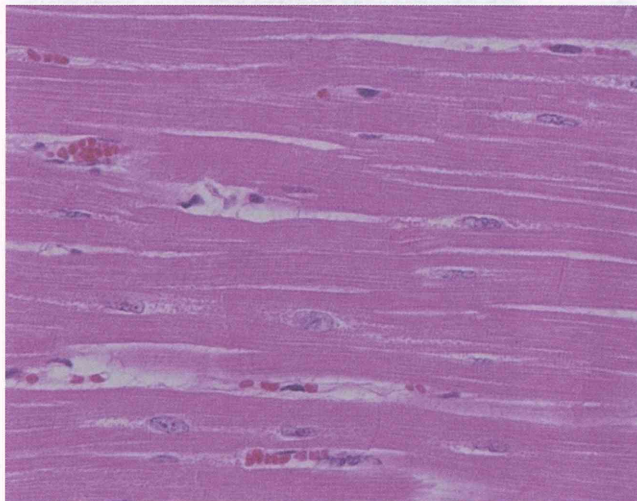


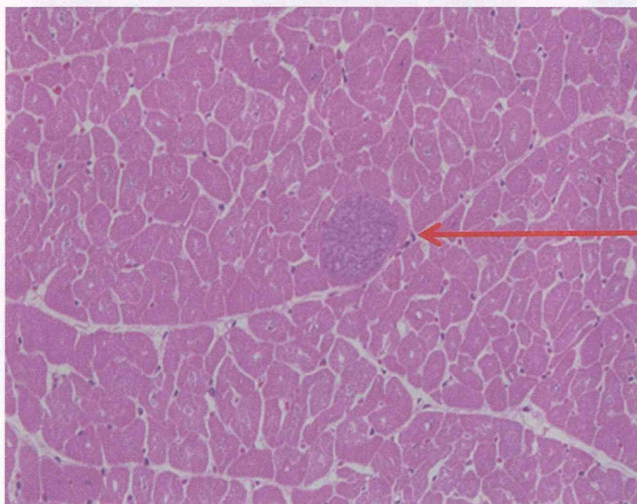
# エゾシカ 心臓



組織所見: 著変なし。心内膜下ではプルキンエ繊維が発達している。



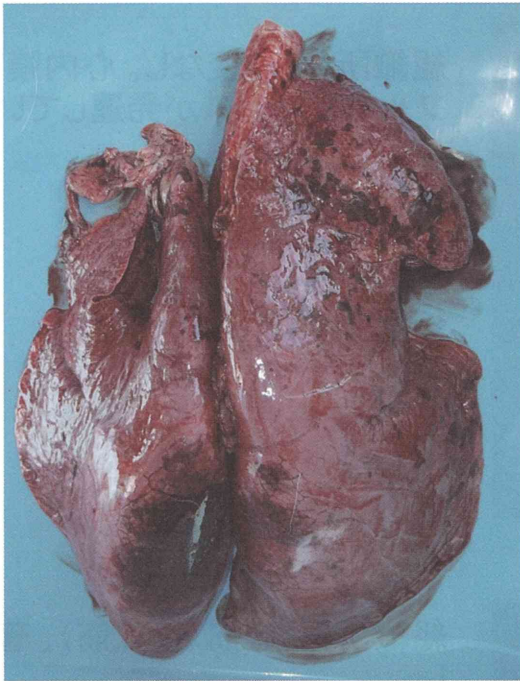
組織所見: 心筋(横紋筋)、著変なし。



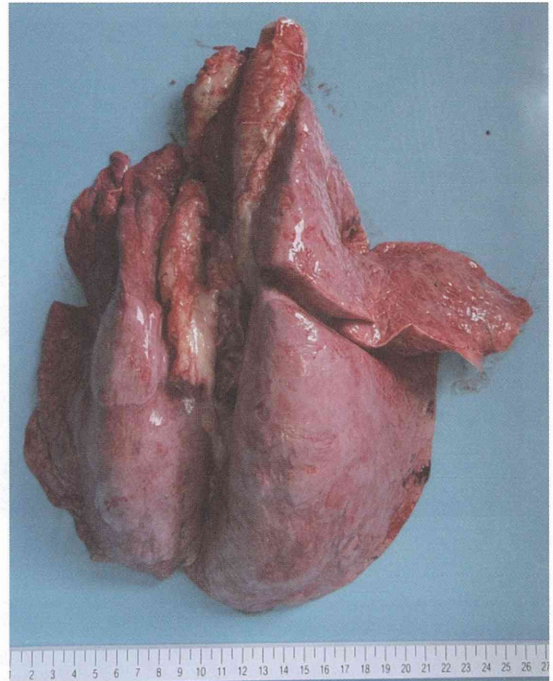
組織所見  
・肉眼的には正常に思われたが組織では住肉包子虫が寄生。

HE染色標本(以下組織所見は特に記載がない場合はHE染色標本を示す)

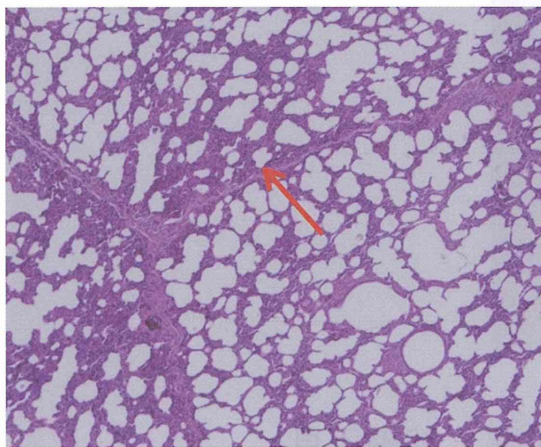
# エゾシカ 肺



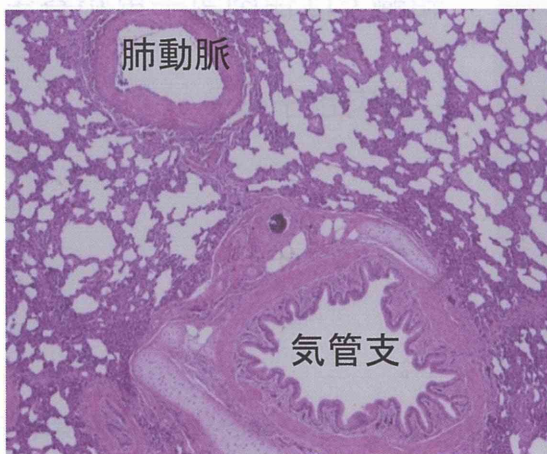
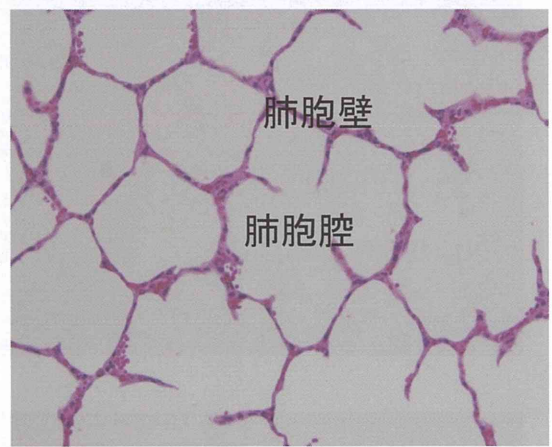
雄、肉眼所見：著変なし。



雌、肉眼所見：著変なし。



組織所見：シカでは肺の小葉間結合組織が明瞭、著変なし。



組織所見：気管支粘膜はひだ状となり、線維弾性軟骨層により囲まれる、著変なし。

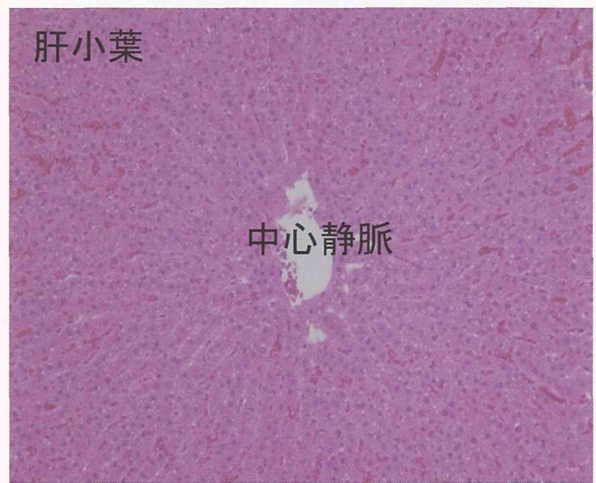
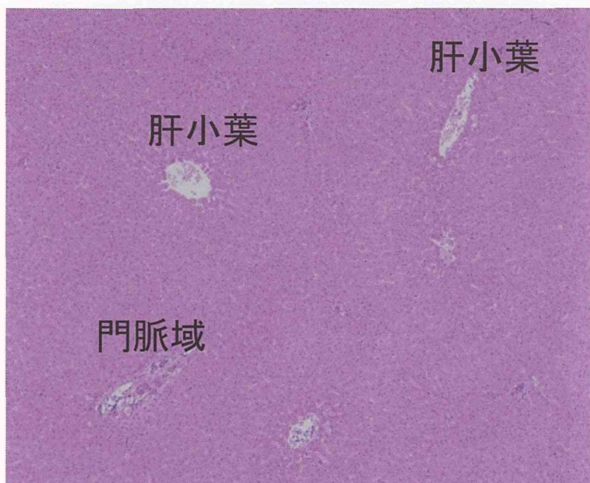
# エゾシカ 肝臓



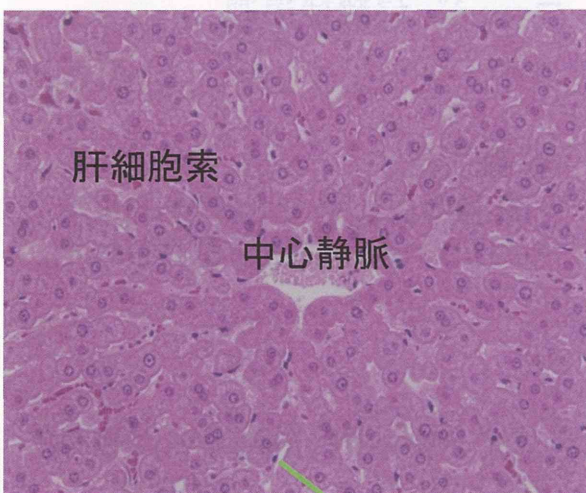
雄、肉眼所見：横隔面、著変なし。



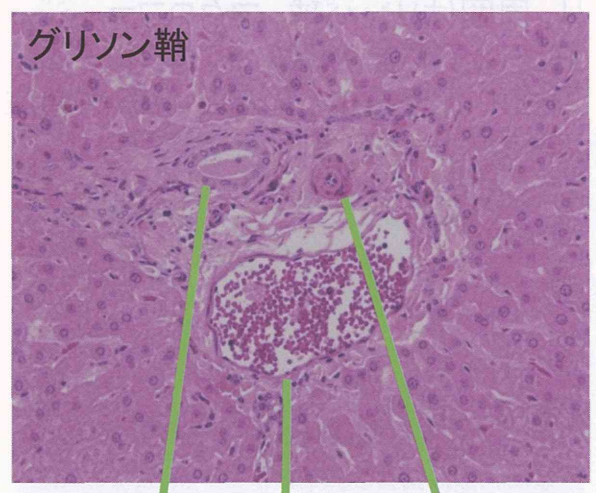
雄、肉眼所見：剖面、著変なし。



組織所見：肝小葉は薄い膠原線維性組織とグリソン鞘で囲まれる、著変なし。



類洞



小葉間胆管 小葉間静脈 小葉間動脈

# エゾシカ 肝臓(病変部)



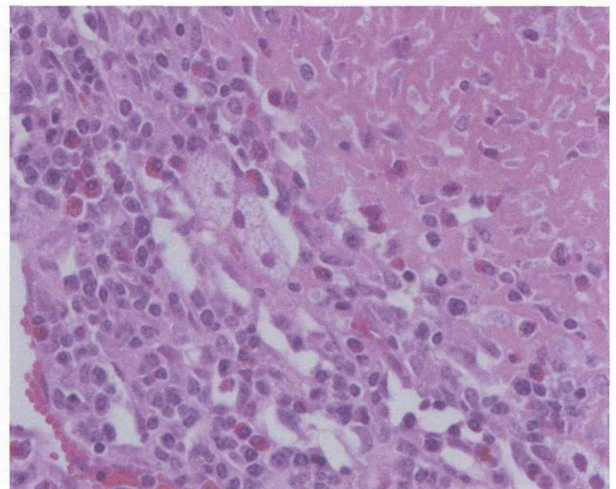
## 肉眼所見

- ・肝臓内に腫瘍形成。
- ・断面はクリーム色で軟らかい印象。

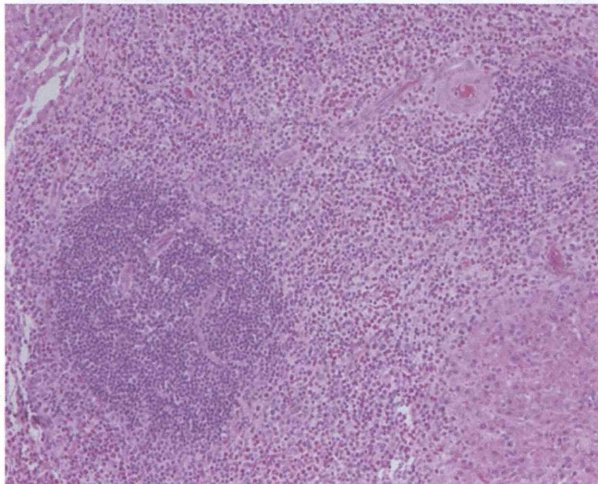


壊死巣

中心部は退廃物を含む壊死巣からなり、周囲はリンパ球、マクロファージ、好酸球浸潤巣で囲まれ、さらにその周囲には陳旧化した結合組織が增生。



壊死巣周囲にはリンパ球、マクロファージ、好酸球浸潤。

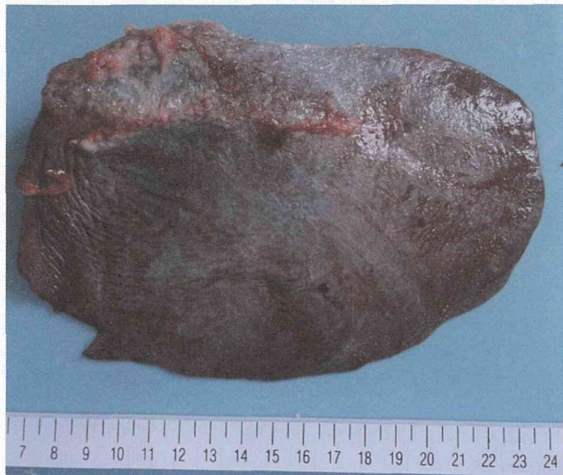


## 組織所見

- ・膿瘍部位以外でも好酸球浸潤やリンパ球浸潤巣が認められた。

対応: 寄生虫に起因する腫瘍(膿瘍)と考えられる。内臓廃棄

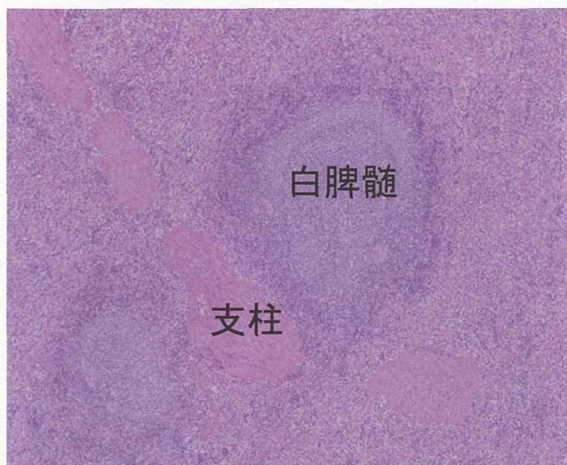
# エゾシカ 脾臓



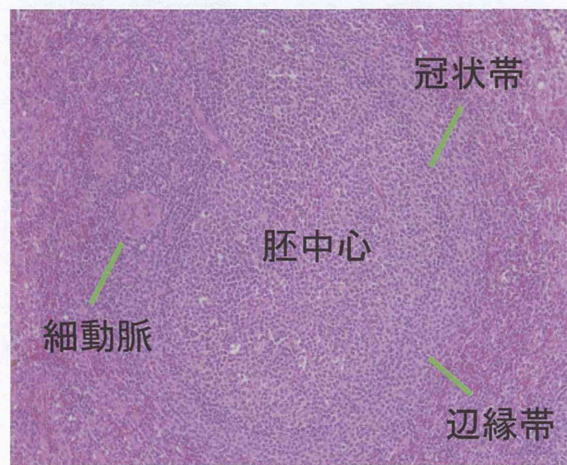
雌、肉眼所見：著変なし。



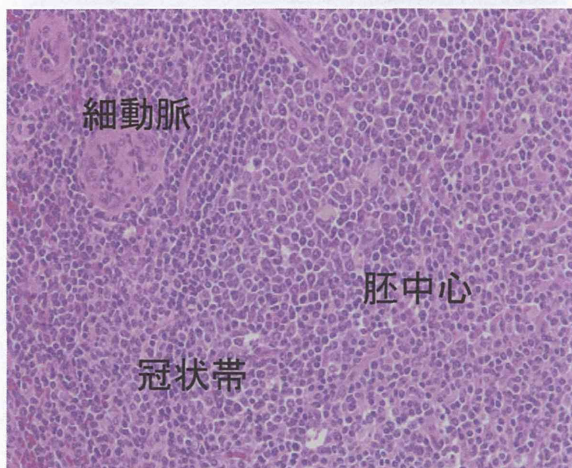
断面：濾胞は比較的発達、著変なし。



組織所見：細動脈近傍に胚中心を形成したリンパ濾胞が発達、著変なし。



組織所見：著変なし。



胚中心領域はBリンパ球が主体となり  
冠状帯 (Mantle zone) はTリンパ球が主体  
さらに辺縁帯 (Marginal zone) には大型の  
リンパ球がやや疎に集まる。

# エゾシカ 腎臓

動物学 獣医学

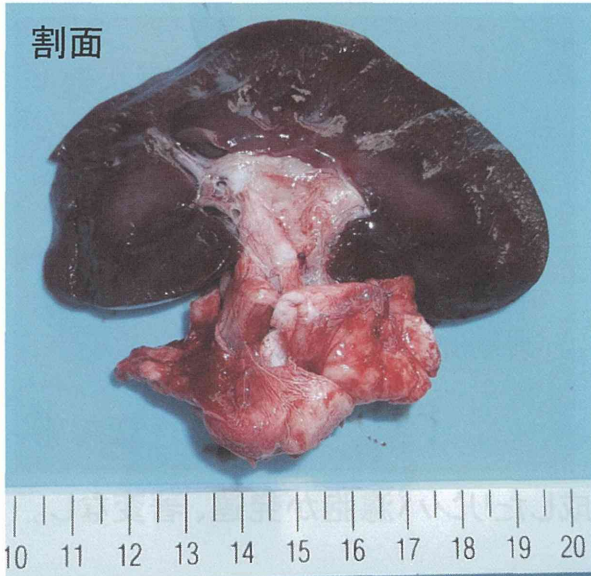
雄、肉眼所見：著変なし。



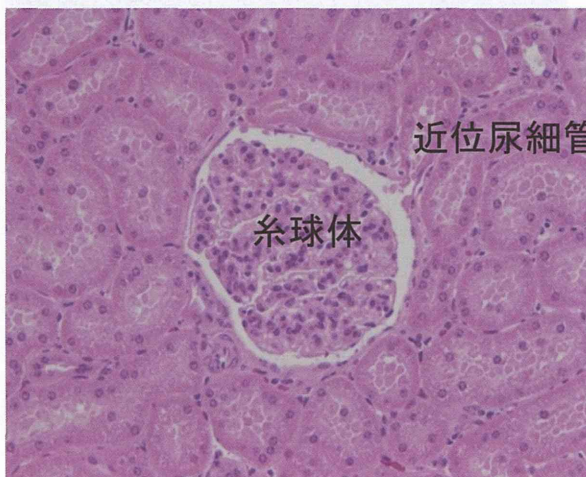
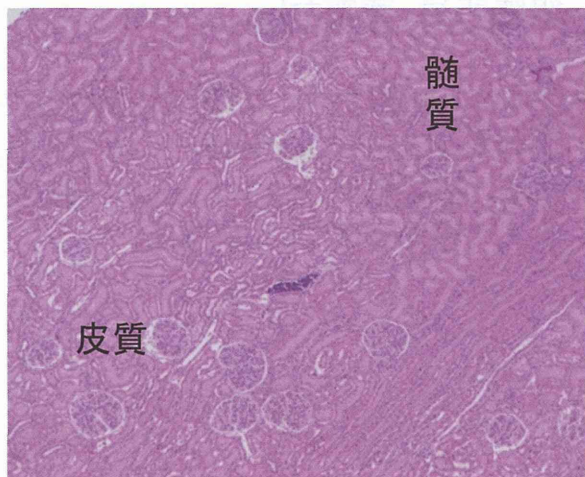
雌、肉眼所見：著変なし。



断面



断面



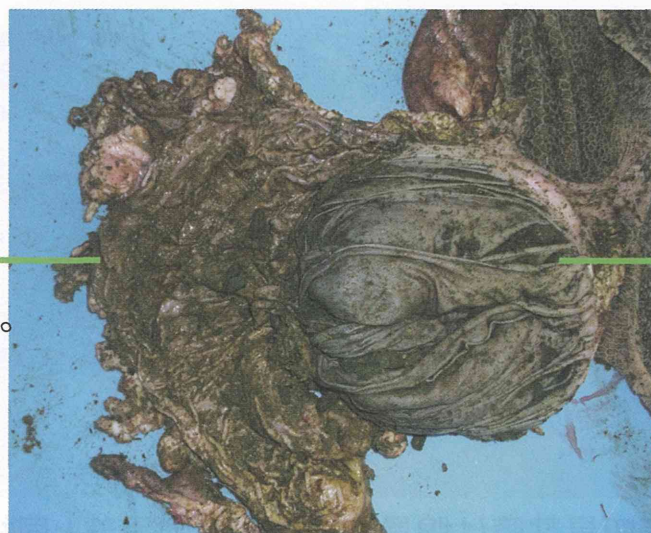
組織所見：著変なし。

# エゾシカ 胃

肉眼所見: 牛と同様、第1~4胃に分かれる、著変なし。



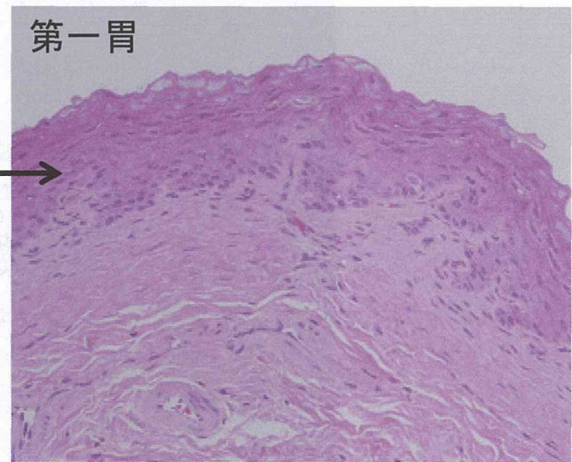
第一胃粘膜面: 円錐状の乳頭が密生。 第二胃粘膜面: 蜂巢状の無数の小室を有する。



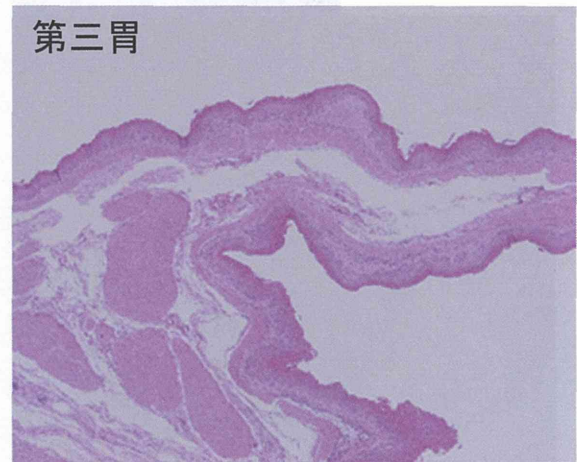
第四胃粘膜面  
腺胃で粘膜面は柔軟。

第三胃粘膜面  
薄い襞状の粘膜で  
第3胃葉を形成する。

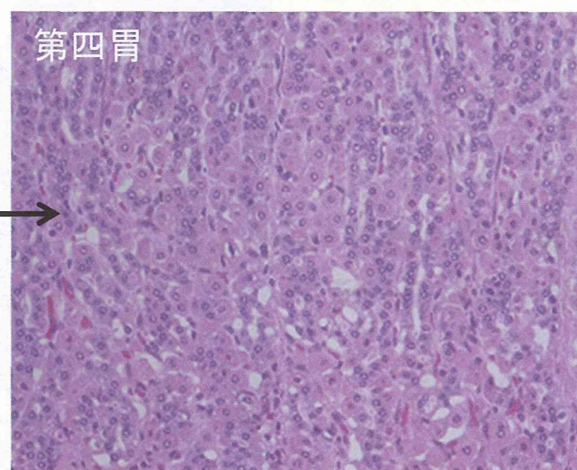
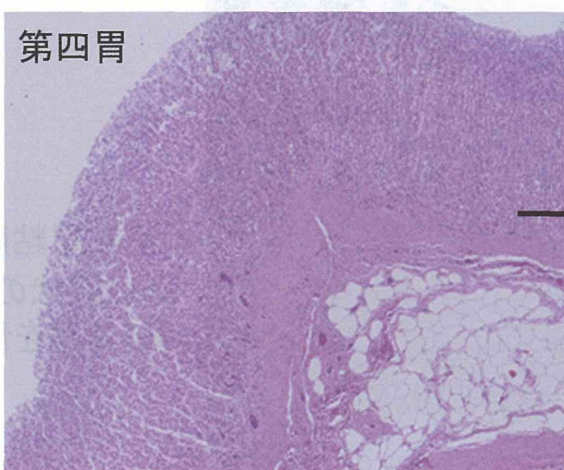
# エゾシカ 胃



組織所見: 第一胃粘膜は重層扁平上皮層からなる、著変なし。



組織所見: 第二胃粘膜・第三胃粘膜は角化重層扁平上皮層からなる。

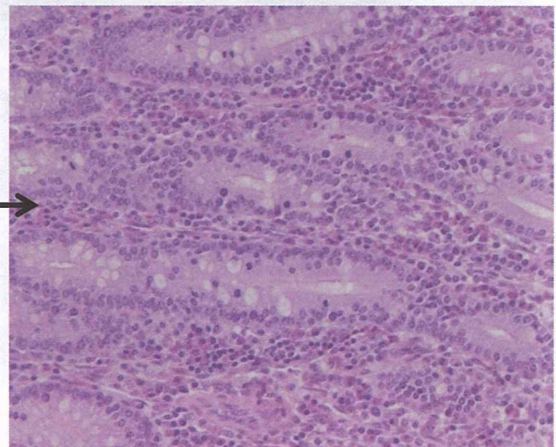
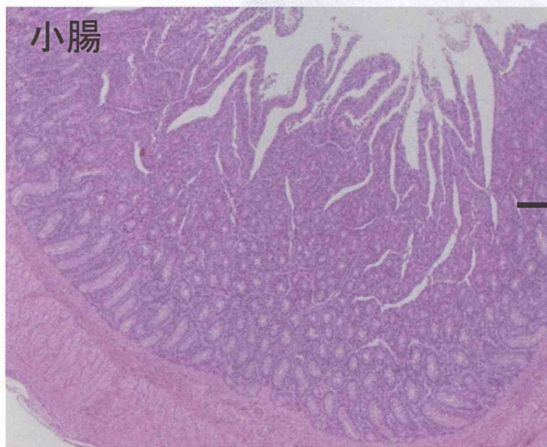


組織所見: 第四胃粘膜は腺胃で通常の有腺胃部と同様の構造を示す。

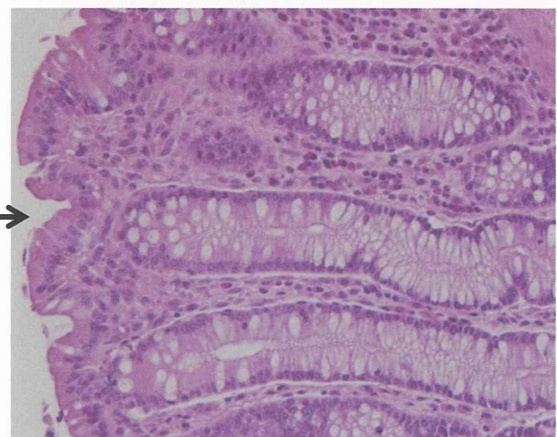


# エゾシカ 腸管

肉眼所見：著変なし。



組織所見：腸絨毛が発達、著変なし。



組織所見：粘膜上皮に杯細胞が発達、著変なし。

# エゾシカ 子宮と胎仔

